



# 耐久大学だより

第246号  
平成30年12月21日発行  
広川町中央公民館  
編集責任者：國分隆雄

津波避難3原則 ①想定にとられない②命を守るために最善を尽くす③周りが逃げなくても逃げる

## 防災学習

### 救急救命・AED

広川町では10月の稲むらの火祭り、11月の津波祭りと防災に関わる行事が行われました。耐久大学でも11月は防災に関わる学習を行いました。

講座では、湯浅広川消防組合の方々を講師に招き、救急救命の基礎知識を学んだ後に、心臓マッサージやAEDの実技を体験しました。



自分の身の周りの人に何が起ころうとも不思議でないこの時代。消防組合の方によると広川町だと救急に電話して救急車が到着するまで場所にもよるが5分～15分はかかるそうです。その間、救急車が来るまで命をつなぐために高齢者であってもできることをしっかり学びました。

消防の方から、「みなさん本当に熱心に取り組まれる姿に感心しました。」と感想をいただきました。



### 火災予防・消火訓練

2限目として、これから寒くなり空気も乾燥してくる時期なので火災に対する対応を学び一人ひとり初期消火への対応として、消火器の使い方について体験しました。そして台所で揚げ物用の油が発火する様子を見学した後、消火の方法について学びました。

本当は、救急救命や初期消火の体験が活かされない方がいいのですが、もしもの場合には、この経験が少しでも活かされると思いました。



## 耐久大学に体験入学してみませんか？

お問い合わせ 広川町中央公民館（町民会館）TEL 63-2295  
火曜日～土曜日（祝日除く）8:30～12:00 13:00～17:00

一緒に楽しい  
経験をしてみ  
ましょう

## 避難訓練でまもるくんへ

救急救命・AED、火災予防・消火訓練の体験後、大地震があり津波が予想されるという想定でまもるくんへの避難訓練を行いました。各専科ごとに車いすの避難者を先頭に避難し、まもるくん人数確認を行い、3階の避難所を見学しました。避難後、湯浅警察の方から講評をいただきました。



## 「上方落語を楽しむ」 桂文鹿 桂雪鹿



今月は落語講座「上方落語を楽しむ」ということで、桂文鹿さん桂雪鹿さんの落語を楽しみました。最初の雪鹿さんは元小学校の教諭ということで優しい口調での落語でした。文鹿さんは声に力があり、楽しく聞かせていただきました。最後には雪鹿さんの音楽漫談？バイオリンの音と軽妙なお話を楽しみました。本物の落語を目の前で見ると楽しむことができました。

## 耐久大学 小学校出前授業&中学校奉仕作業への協力

小学校の出前授業では、1年生の「昔遊び」であやとりやお手玉、おはじき、まりつき、紙鉄砲、コマ回しなど昭和30年代頃の子どもの遊びを子どもたちとお話ししながら一緒に遊びます。また、3年生では「昔の暮らし」という学習で、昔の生活の様子をお話ししたり、子どもたちの疑問質問に答えたりした後、七輪で炭に火をつけることから、炭火を使ってもちやひものを焼いて食べる経験のお手伝いをします。

来年1月18日（広小学校1年）、1月25日（南広小学校1年）、2月5日（南広小学校3年）、2月8日（広小学校3年）への協力者を広・南広地区に分けて話し合いました。

12月21日（金）13:30～14:30の間、耐久中学校の生徒と一緒に地区ごとに分かれて、清掃活動とカーブミラー磨きに協力します。

当日は、かわいい子どもたちや生徒と、どのような交流が生まれるか今から楽しみです。

